

# 議会だより



6月定例会市議会の予定	日程	内容
	6月9日(金)	開会
	6月15日(木)	一般質問
	6月16日(金)	一般質問
	6月19日(月)	一般質問
	6月20日(火)	一般質問・質疑
	6月21日(水)	委員会
	6月22日(木)	委員会
	6月23日(金)	委員会
	6月29日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

**特集①** 文教福祉委員会 行政視察レポート…………… 2ページ

**特集②** 総社商工会議所との意見交換会…………… 2ページ

主な内容	1月臨時・2月定例会市議会……………	3ページ
	一般質問……………	5ページ
	委員会活動報告……………	14ページ
	復興に向けて・その軌跡 (Vol.13)……………	16ページ

表紙写真:新庁舎模型(手前が議会棟)



1月17日から18日にかけて行政視察を実施しました。  
【義務教育学校について】

1日目は大阪府和泉市にある小中一貫の義務教育学校「南松尾はつがの学園」を訪れました。

学園内の案内と全体説明があり、その中で中学生（後期課程）が小学生（前期課程）と共に学ぶことで切磋琢磨し合う良い作用をもたらしている点をあげていました。まだまだ課題もあるとのことでしたが、本市でも昭和地区に義務教育学校を開設する予定であり、今回の視察内容も活かしていきたいと思えます。



1日目 大阪府和泉市にて



2日目 滋賀県彦根市にて

【部活動地域移行について】

2日目は部活動の地域移行の推進モデルに選ばれた滋賀県彦根市にある「稲枝中学校」の取組を彦根市役所にて聞きました。以前から地域指導者がいたことや地域性もあり「部活動の地域移行がなされるとうこうなる」ということが見えてきました。しかし、本市において同じことが可能かと問われると疑問であり、本市独自のやり方を見出していることが重要ではないかと感じました。令和5年度から一部の中学校にて本格的な部活動の地域移行に入っていく予定です。（山名正晃）

1月27日に総社商工会議所にて総社商工会議所の皆様と産業建設委員会との意見交換会が行われました。

市内中小事業者等の現状を知りたいと、委員外議員も多数出席しました。

会議所に寄せられた事業者の皆様の声として「原材料費の値上がりに対して、価格の上乗せや転嫁がすぐには難しい」ことや「円安の影響」「燃料費が上がると、売上げが上がっても利益があまり出ない」「求人を出しても人が来ず、人手不足に陥っている」そして最も多かった声が「電気代の値上げによる経営圧迫」であり1・3倍から2倍近くまで上がり利益が圧迫され、これからの経営にも影響が出ていること等が挙げられました。

今後の意見交換会としては様々な方との意見交換会を実施していきたいと考えておりますので何卒よろしく願います。（山名正晃）



総社商工会議所 会議室にて

2年連続 令和5年度一般会計304億2千万円 過去最高 特別・企業会計を合わせた520億2500万円を可決

1月臨時市議会

1月臨時市議会が1月12日に開会し、報告1件、議案3件を審査しました。

【新庁舎建設工事請負契約締結について、全会一致で可決しました。】

2月定例市議会

2月定例市議会が2月28日に開会し、議案34件、同意8件、意見1件、陳情1件を審査し、3月23日閉会しました。  
令和5年度予算

一般会計304億2千万円、特別会計151億7千万円、企業会計64億3500万円、計520億2500万円を可決しました。一般会計の主な内容は次のとおりです。  
□子育て支援・教育関連として、障がい児施設通所費等支給事業約5億2千万円、山手

保育園の認定こども園化にもなう補助金約2億9千万円、小児医療費支給事業（今年度から中学生まで全額公費負担）約2億8千万円、放課後児童クラブ関連約2億3千万円、幼稚園一般経費（今年度から幼稚園給食開始）約2億円、出産・子育て応援給付金約6千万円、地域部活動推進事業約1400万円、義務教育学校準備経費100万円、移動式赤ちゃんの駅関連70万円など。  
□医療・福祉関連として、病院施設整備補助金9億8千万円、生活保護経費約7億300万円、障がい者地域生活支援事業約1億5千万円など。  
□環境・衛生関連として、農業集排水事業補助金約1億6千万円、電気自動車等導入費助成金1500万円、動物愛護事業（マイクロチップ装着補助等）約200万円など。

□農林業・商工観光関連として、長良排水機ポンプ増設工事約1億3千万円、そうじゃのお米支援補助金3千200万円、担い手育成支援事業約3千万円、旧堀邸等修繕料約2千万円、新設市民農園造成工事費300万円など。  
□土木関連として、泉く国道180号バイパスく東総社駅南北道整備約1億1千万円、市道清首神在本線く県道六粟真備線南北道整備約9800万円、国道429号く県道総社社守線南北道拡幅工事6300万円、公園管理経費約1億1千万円、市営住宅管理・整備関連約1億2千万円など。  
□消防・災害対策関連として、消防団員報酬約4900万円、美袋排水路整備関連約1千万円など。

□出産育児一時金の支給額を引き上げる案を可決しました。  
□医療費給付の範囲を広げ、中学生の外来受診自己負担を無償とする案を可決しました。  
□高梁川の出水による危険の著しい地域を災害危険地域と指定し、建築制限が可能になる条例案を可決しました。  
同意・意見案件  
□政策監に難波敏文氏を任命することに同意。  
□教育長に久山延司氏(再任)を任命することに同意。  
□教育委員会委員に三宅眞砂子氏(再任)を任命することに同意。  
□固定資産評価審査委員会委員に秋山伸氏(再任)、西本憲次氏(再任)、横田修氏(再任)、横浦貴之氏、渡邊康晴氏を選任することに同意。  
□人権擁護委員の候補者に高谷智子氏を推薦する意見に同意。すべての付議案件の審議結果については、次ページをご覧ください。

予算以外の諸議案

□消防団員の処遇改善のため、報酬及び費用弁償を国の示した基準額相当に改正する案を可決しました。



問 そうじゃ吉備路マラソン4年ぶりの開催にあたり結果及び成果はどうか

答 今回のマラソン総括すれば80点の評価だ



森 安 健 一

問 改善点、安全面、参加者など過去の大会に比べてどうか。

市長 改善点、安全面。スタートブロック制A、B、Cスタートを取り入れた。ハーフについてはスタート時間を変えた。参加者については1万2千人上限のところ7,321人しか集まらなかった。理由としてコロナ禍また参加費用を大幅に値上げをしたため。

問 今回フルマラソン、ハーフマラソン、10Kmに絞ったのはなぜか。

市長 コロナ対応もあり、また岡山県陸上競技連盟の指示もあり、まだ子どもが集まって走ることはいかなものかとの事で3種目に絞った。

問 次回大会へ向けてはどうか。

市長 我々が目指すのは、市民マラソンであり多くの皆さんが集まって喜び合うマラソンをする。次回は子ども向けの種目を復活させたい。

伴走型相談支援について

問 出産・子育て応援給付金支給事業についてどのように発信しているか。

市長 ホームページや冊子で発信し、これまでに申請された方は823人である。

問 今後も、毎年継続するのか。

市長 国の方針次第で次回議会で議論する。

問 伴走型子育て支援体制については。

市長 子育て支援は地域ぐるみで考えていく。

議長交際費執行状況 [令和4年12月~令和5年1月分]

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。(単位:円)

Table with columns: 支出区分, 支出年月日, 支出金額, 支出先等. Rows include expenses for administrative observation and online observation.

2月定例市議会

一般質問



令和5年1月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

Table of council resolutions for the special session in January, including items on construction contracts and agreements.

令和5年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Large table of council resolutions for the regular session in February, covering various budget items, regulations, and administrative matters.

令和5年2月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table showing the voting status of council members on specific resolutions, with columns for member names and their votes (赞成, 賛成でない, etc.).

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退出 欠:欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。※QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。



**問** 公共施設の建て替えや市有地活用など長期計画を作るべきと考えるがどうか

**答** 明確に示せるもの、答えづらいものがあるがFM(施設管理)計画は作る



三宅 啓 介



**問** 施設や市道、公園、イベントへのネーミングライツ制度を導入してはどうか

**答** その考え方には賛成であるが、利用頻度を上げるための営業努力も必要である



山名 正 晃



物価(電気ガス含む)高騰対策について

**問** 物価高騰の市民生活などへの影響をどう捉えているか。

**市長** かなり深刻なことだと認識している。

**問** 特に家庭への対策は必要と考えるがどうか。

**市長** いろいろ考えてやっていきたい。

**問** 事業所への対策はどのようなもの考えているか。

**市長** 深刻な状況を打破するための対策を提案したいと考えている。

**問** 公共施設の電気代高騰にはどう対応しているか。

**市長** 市庁舎の電気代は令和4年度予算が1,685万円、令和5年度予算は3,607万円、約2倍となっている。公共施設合算では令和4年度の2.8億円が、令和5年度で4.4億円となり1.6億円の増加となっている。対策として休憩時間中の消灯、空調機の使用時間制限、市庁舎では最大需要電力を監視し超過しないように取り組んでいる。

道路整備と交通施策について

**問** 国道180号線バイパスの部分開通により交通事故など新たな課題はあるか。

**市長** 信号機の無い交差点を通過する学生が多いと連絡があったので教育委員会を通じて啓発を行っている。

市営住宅跡地について

**問** 市営住宅跡地の児童館活用はどうか。

**市長** 市営住宅跡地は売却の方針である。児童館については新たな議論になると思う。まちづくりについて

**問** 新しい住宅地に防犯灯がついていない。

**市長** 防犯灯設置には各学校区の地域づくり協議会に自由枠交付金が割り当てられているので是非とも相談をしてもらいたい。

デジタル化について

**問** 本市のデジタル化の方向性はどうか。

**市長** 市民の利便性向上はもちろんのこと、職員の仕事量削減から市民への新たな取組に繋げることが目標である。

**問** 教育現場のデジタル化状況はどうか。

**教育長** 教職員は校務支援ソフトでペーパーレス化、成績処理を行い、児童生徒は学習アプリやデジタル教科書を導入。学校、教員による差はあるが活用状況は向上している。本年4月から端末持ち帰りも実施していく。

**問** 出欠連絡や脱プリントの状況はどうか。

**教育長** 幼稚園、小中学校一斉に新連絡システムを導入するので研究をしていきたい。

**問** 不登校、自主休校児童生徒に対してICT教材を活用した出席扱いの考えはないか。

**教育長** 出席扱いとなるための要件を満たせるようにしたい。プログラムを通じて社会的自立も目指していきたいと考えている。

**問** 神在幼稚園の休園についてはどうか

**答** 再開園できるよう全力で頑張りたい



三上 周 治



神在幼稚園の休園について

**問** 率直な思いはどうか。

**市長** 私の責任であり責任を痛感している。**教育長** 様々な工夫で教育を行ってきたが休園は残念で地域の方々に申し訳ない。1年で終わらせたい。

**問** 今後について、どのように考えているか。

**教育長** 復活に向けて預かり保育の実施や小学校区の弾力化や特区、未就園児の保護者へのアプローチなどを考えていきたい。

**問** 全域での対応はどのように考えているのか。

**教育長** 令和5年度入園希望者は前年度比40人のプラスで695人、しかし小規模園では一桁で今後、早期に拡大総合教育会議を開催したい。

**問** ロングタイム幼稚園とは何か。

**市長** 保育園と同様に8時から18時まで長い時間預かれる魅力ある幼稚園を作りたい。

人材育成について

**問** コミュニケーションに問題はないか。

**市長** 秘書室職員に迷惑がかからないように気を付けてまいりたい。

公務とプライベートの認識について

**問** 市長のSNSの発信の準備を公務員である職員が行っているがどうか。

**市長** 以後、気をつけます。

**問** 昨年6月の病院施設補助金交付要綱だが、市長の考えはおかしい

**答** 私の理解が間違っていたらお詫び申しあげるが、市外からは思っていない



荻野 哲 也



**市長** 議員が言うように私の答弁が間違いである。

**問** 当時の補助要綱に基づいて議決した議員に対してはどうか。

**市長** 議員各位にお詫び申し上げます。

清音・山手の合併後の行政運営について

**問** 合併時に決められた事業についてできていないのはなぜか。

**市長** 財政的にできなかった。

**問** 財政見直しも立てての約束ではないか。

**市長** 清音生涯学習センターは夢を叶えたいと思っている。

**問** 夢が計画でいいのか。

**市長** 計画には願いや夢があっている。

**問** 昨年6月に地元議員が「生涯学習センター基金の運用益で跡地利用してくれ。逸脱しているとは思っていない。」と質問をしたがこれは逸脱ではなくて法令違反だ。生涯学習センター建設基金条例には、建設推進が目的となっており、運用益も基金に編入と定められている。「生涯学習センター基金を切り崩せ」と言ったわけで生涯学習センターはいらないということではないか。

**市長** 検討に値する。

**問** 新市まちづくり計画を考え直してはどうか。

**市長** 地元の意見を聞く。



**問** 全会一致で条例の議案が否決された感想はどうか

**答** 否決は残念であったが責任を感じている



加藤 保博

市長の政治姿勢について

**問** 令和になり条例も含め3年連続の議案否決だが、要因は何と考えているか。

**市長** 私がスピード感を求め過ぎ、事前の準備が不十分であったことだと思う。

**問** 議案や条例は内容が重要であり、急ぐ必要は全くない。可決は当然という唐突な提案に問題があると思うがどうか。

**市長** さまざま不備な点があり、議会への提出過程においても配慮が不足していた。反省する面も多く、今後は改める。

職員対応について

**問** 市長のトップダウンのスタンスでは、市政推進の原動力である職員のやる気はなくなる。現場の声を聴き、思いやりと謙虚さを備えた市政運営を望むがどうか。

**市長** 肝に銘じて頑張ってもらえる。職員の意見を聴く場も設けるよう検討する。

窓口業務について

**問** 新築住宅の開発許可には各課の審査のためかなりの日数を要する。過去に最後になってトラブルがあったと聞くが事実か。

**建設部長** 非常に稀な制約が判明し、不許可にせざるを得なかった。

**問** 最初の窓口で全体がチェックできる体制を整えるべきと思うがどうか。

**市長** 大変ご迷惑をおかけした。早速チェックリストを作成し、改善に取り組む。

**問** 農振農用地についても地区計画やその他の開発を行っていく考えはあるか

**答** 難しい問題だが、様々な手立てを講じてできる限り進めていく



荒木 将之介

**問** 既存集落維持型地区計画とはどのような制度で目的は何か。

**市長** 市街化調整区域で住宅建築可能なルールづくりをする住民提案型の制度で、集落コミュニティの維持を目的とする。

**問** 地区計画は市街化調整区域であればどこでも可能なのか。

**市長** 農振農用地など他法令により住宅建築が行えない区域や、土砂災害警戒区域など危険な区域には作成できない。

**問** 新聞のインタビューで「農振地域についても地区計画を考える」と発言されたが、農用地以外という意味であったか。

**市長** 原則論としては農用地を外すということになるが、農林水産省に直談判する、特別に政治的な配慮を求めるといったこともあるとは思っている。

**問** 地区計画のために農振除外できるのか。

**市長** できない。農振除外には厳格な要件がある。また、除外後に他法令に適用することも条件になる。

**問** 市街化区域に隣接する地域だけでなく、周辺の地域についても、地区計画やその他の方法で開発を行っていくつもりはあるか。

**市長** 地区計画可能な地域であれば進めていく。その他の地域については難しいが、中央省庁にお願いすることも含め、前向きにがんばるしかないと思っている。

**問** 人口問題について

**答** 人口減少に対応する部署を早急に設置する



小西 利一

**問** 人口減少地域に対してこれまでの政策は効果があったのか。

**市長** 特区制度は一定の効果はあったがこれからは新しいステージを考えていく。

**問** 人口減少地域の空き家を利用して移住の促進を図ってはどうか。

**市長** 全市での空き家調査が終わりその状況を把握して子育て、定住、土地対策など横断的に取り組む人口減少に対応する部署を設置する。

**問** 人間ドックの検査推進について現状のままで良いと思うのか。

**市長** 健康づくりの基本的部分であるので、現状のままではダメだと思っている。もっと啓発活動、PRに努めるべきだと思う。

**問** 人間ドックの助成手続きの簡素化はできないか。

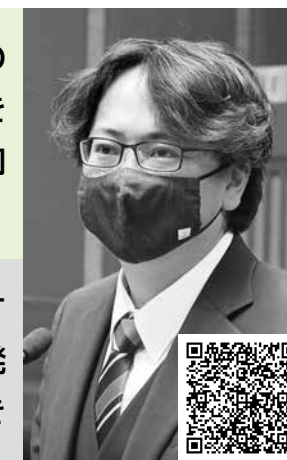
**市長** どのような処理が適切かを今一度確認して簡素化できるところは簡素化していく。

**問** 带状疱疹ワクチン接種の助成について他の自治体が行っているように上限を決めて助成をしてはどうか。

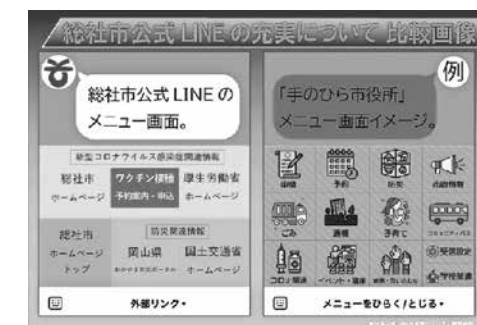
**市長** 総社市の現状を踏まえてどのようなかたちで助成できるか検討していく。

**問** 情報発信のみの総社市公式LINEを一方通行から双方向へ充実するべきだ

**答** SNSを活用することが市の情報発信力に繋がる。前向きに進めてまいりたい

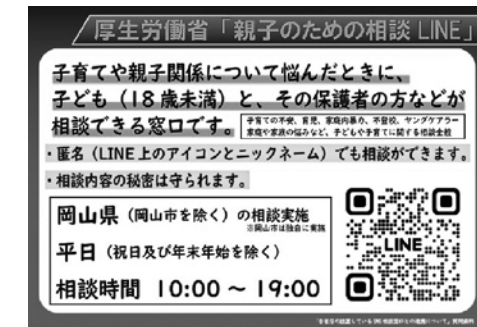


山田 雅徳



**問** SNS等を活用した市民の相談体制の状況はどうか。

**市長** 現在の相談体制の多くは電話や対面のみだ。各省庁が実施しているLINE相談窓口とも連携できるものは活用し、市独自の相談体制の構築については、市民のニーズを聞きながらSNS対応できるものに関しては対応を検討したい。



**問** GIGAスクール端末を活用した小中学生の相談体制はとれているか。

**教育長** 健康観察や生活アンケートで端末を活用した学校が増えてきている。紙アンケートと違い、早く集計することができるので早期の相談・対応に繋ぐことができている。



**問** 学校給食は子どもにとって大切な授業の一環と考えるが市長の見解はどうか

**答** 大切な教育活動であると認識している



熊進 仁

**問** 地震等の事前避難が不可能な災害が発生した時、避難所の開設は誰が行うのか

**答** 地域の方々、地域を代表する方が行うことになる



溝手宣良

学校給食について

**問** 本市において給食費の減免の措置は行われているか。

**教育長** 令和4年度まで1食あたり30円の減免が行われていたが、令和4年度限りで打ち切りになる。

**問** 学校給食費の無償化は考えられないか。

**市長** 岸田総理にお会いして国費で賄ってもらえるようお願いしてきたところであるが、毎年多額の費用が継続しているので慎重に対応していかなければと思っている。

物価高に対する支援について

**問** 燃油高は軽貨物運送事業者の方は生活に直結した問題であるので、大型貨物運送事業者と同じように支援していただきたい。

**市長** 今後補助を行う機会があれば、軽貨物運送事業者の方々も補助対象にする方向で考えていきたい。

**問** 物価対策応援券は経済的理由や環境によって買えない人がいるが、公平な分配方法は考えられないか。

**市長** そのような方がいることは承知している。何らかの形で熟慮していきたい。

インボイス制度について

**問** 登録していない業者を入札から除外するようなことはないか。

**市長** 登録しているしていないで区別するようなことはしない。

危機管理について

**問** 「こくっち」の普及状況と受信状態はどうか。受信できない所はあるのか。

**市長** 550台で市内ほぼ全域をカバーしている。公式LINE等で補っている。

**問** アナログの屋外同報系防災行政無線拡声器も必要と思うがどうか。

**市長** 多額の費用を要するためやめたが、サイレンは大事と思っている。

**問** 事前避難が不可能な災害発生時の避難所開設は、誰が行うのか。

**市長** 地域の方々が行なうことになる。

**問** 福祉避難所への避難方法が分かりにくいがどうか。

**市長** ハザードマップの内容を書き直す。

まちづくりについて

**問** 180号バイパス沿線開発や東部地域への下水道設備、県大周辺市街化や農地取得の下限面積要件撤廃に乗じた移住定住促進等を掲げ、10万人都市を目指さないか。

**市長** 実現困難なものもあるが、あらゆる可能性を模索し積極的に開発したい。

**問** 吉備路マラソンの目的は何か。

**市長** 総社市を元気付けるためだ。皆が楽しめる大会にしたい。

**問** 仕方なくボランティアに参加している人が、一定数いることをどう思うか。

**市長** 自主性を大事にする。

**問** 小・中学校の女子トイレに、生理用品を設置してはどうか

**答** 検討して、6月議会に答えを出す



頓宮美津子



**問** 「生理の貧困」が叫ばれて全国に輪が広がったが、貧困だけではなく様々な要因で子どもたちが困っている。子どもたちの声なき声に

え、安心して勉強できる環境にするために学校のトイレに設置してはどうか。

**市長** 内容は理解した。6月議会で答える。

**問** マイナンバーカード申請が進んでいるが、市民サービスの向上を目指して「書かない窓口」に取り組んではどうか。

**市長** やっていききたいと思っている。

**問** デジタル障がい者手帳をすすめては。

**市長** すすめたいと思う。

幼稚園教育の魅力化について

**問** 給食サポーター制度を設けてはどうか。

**教育長** 評議員・愛育委員等の皆様に声をかけているがさらに広げていきたい。

**問** 防災の日等の給食に非常食を加えて、防災の意識を高めてははどうか。

**教育長** 防災教育の一環として検討する。

**問** 英語特区で効果が立証されている英語をすべての幼稚園で実施してはどうか。

**市長・教育長** 全域的に英語を学ぶことは大事だと思うが、よく相談して検討する。

**問** 国道180号バイパスに接続する南北道についてどう考えているか

**答** 今後南北道の整備はこれからの総社のためにしなければならぬ課題である



深見昌宏

**問** <sup>おしかべ</sup>刑部三須線についてどう考えているか。

**市長** 東総社中原線につながる南の350m部分は令和5年度中に開通予定である。北の長年にわたっての課題である県道総社足守線に接続する桃太郎線をオーバーする部分については、通学路になっている県道のバイパスと位置づけ県に要望しているところである。

**問** 南北道が整備されることによる波及効果はどうか。

**市長** 交通の利便性がアップすること以外に市街化区域の線引きをもう一度確認して、県や国に対してお願いをしていかなければならないと思う。

**問** 西阿曾地域の地域未来投資促進法に関わる企業誘致は現在どうなっているか。

**市長** 全体で16.5haあるが10haを岡山土地倉庫が令和5年12月に着工予定であるが、3.4ha前田物流サービスが申請をしていたが取り下げられている。残った土地については早急に埋めていければと思っている。

国道180号バイパスと周辺道路の交通渋滞について





**問** 晩婚化、未婚化が進んでいる中で、今後、結婚に伴うお祝いは考えられないか

**答** 大切なことであり、何ができるか総合的な結婚に結びつくよう考えたい



高谷 幸男

**問** ホームページのリニューアル時期は決まっているのか

**答** タイミングを見ながら、やるべきはやっていきたい



太田 善介

小型無人航空機ドローンについて

**問** 防災・災害、南海巨大地震に対応のドローンの活用はどうか。また、各機関との連携をどのように考えるか。

**消防長** 現有の2機により火災のみでなく、災害の把握・行方不明者の捜索・各種調査などで使用しており、更に装備なども考えたい。また連携協定もあり更に対応したい。

少子化対策について

**問** 令和5年度から中学校卒業までの医療費を無償化としているが、他の自治体では18歳あるいは20歳まで延長していることから、「子育て王国」の標榜に合わせ、更なる支援が必要と思われるがどうか。

**市長** 令和5年度の制度を見ながら検討を加えていきたい。

観光対策について

**問** 創業以来満20年を迎えた国民宿舎サンロード吉備路の老朽化に伴う早期改修計画が必要と思うがどうか。

**市長** 創業当時の建設借入金の償還も完済した。リフォームなどの計画を立て、更に20周年記念イベントを何か考えたい。

スポーツ選手の顕彰について

**問** 56年ぶりに全国高校総体優勝をはじめ、数々の優秀な戦績と多くの選手の目標である、吉川天乃選手そらのの顕彰は考えられないか。

**市長** 何らかの形で検討したい。

総社市のホームページについて

**問** ホームページの目的の情報検索結果に反映されないがどうか。

**市長** 現在、検索機能に不具合があるようである。

**問** 現在のデザインが制作された時期はいつか。

**市長** 平成26年4月にリニューアルはしているが、デザインが古い事は否めない。

**問** ウェブアクセシビリティ(ホームページなどのバリアフリーな環境)についてどういった取組をしているか。

**市長** CMS(コンテンツマネージメントシステム)を使って音声読み上げや色のコントラストを調整しているが、最新のアクセシビリティには対応していない。

未就学児の子どもを預かる施設・事業について

**問** 人口減少地域の幼稚園や保育園をどのように運営して行くのか。

**教育長** 幼稚園は地域の教育の拠点なので、できるだけ統廃合はしたくない。

**問** 市長は幼稚園に力を入れているがなぜ幼稚園なのか。

**市長** 特別に幼稚園だけだという訳ではないが、幼稚園の設置主体は市であり責任がある。

**問** Uターン・Iターンする学生の奨学金返還支援はどうか

**答** 企業を支援しながら総社市として何ができるか検討したい



岡崎 亨一

**問** 国の結婚支援事業の検討はどうか。

**市長** 前向きには考えたい。カップリングの会も安全性を確保して復活させたい。

ボランティア支援について

**問** 歩得、リン得などの取組が地域活性化につながっている例があるが、ボランティア活動をポイントとするボランティアポイント制度を導入してはどうか。

**市長** 予算を伴う通常の市内で使えるボランティアポイントと予算をあまり伴わない総社を発信してもらう地域貢献ポイントを合わせた総社流で考えたい。

宅地耐震化推進事業について

**問** 総社市内の大規模盛土造成地マップが公表されたが、安全性の調査はどうなっているか。

**市長** 市内には大規模盛土造成地は、34か所ある。

**建設部長** 令和4年度に目視で現地調査を行った。安全ではない所は、令和5年度にボーリング調査をして宅地所有者と話をしていく。

**問** 大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の内容はどうか。市は逃げずに関わっていくのか。

**市長** 国の関わり方を確認して市の対応を考えることになる。市民の安心・安全のために逃げずに関わっていく。

**問** 今後の軽部川改修計画やスケジュールはどうか

**答** スケジュールが決まり次第、地元への説明会を開催したい



小野 耕作

軽部川の現状について

**問** 軽部川の逆勾配を解消しないと抜本的な対策にならないと思うが、現状についてどう考えているのか。

**市長** 一部浚渫工事を行ったものの、逆勾配を解消しないと状況は変わらない。令和5年1月23日に、国・県・市で軽部川について協議を行った。平成30年7月豪雨と同量の雨量でも越水しない方法、ポンプの能力確保について戦略を練っていきたい。

**問** 老朽化したポンプの更新が必要だと思うが、今の排水能力で十分か。

**市長** 十分ではない。ポンプの更新を国に要望していきたい。

スクールソーシャルワーカーについて

**問** 令和元年度から令和3年度までの市内中学校の不登校生徒数はどうか。

**教育長** 不登校は増加傾向にあり、学校での対応が難しくなっている。

**問** 市でスクールソーシャルワーカーを独自採用できないか。

**教育長** 問題解決には幅広い連携と広い視野が必要となる。問題解決の方法の一つとして検討していきたい。



総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、1月臨時会では議案3件、2月定例会では議案12件であり、すべて原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

《1月臨時会》

●工事請負契約の締結について(総社市新庁舎(庁舎棟・議会棟)建設工事「建築主体工事」)

問 標準工期が24か月必要と思うが、合併特例債の期限内に合うのか。

答 標準工期24か月で完成を予定しているが、当初の工期設定が令和6年度内に収まっていれば、やむを得ない繰越は認められる。

《2月定例会》

●総社市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(議案第5号)

問 総務省が示した交付税単たと思うが、なぜそうしないのか。

答 別表を変えようとする場合、専門家の意見を聴取しながら、ある程度の期間をとって、検討していく必要があるが、薬師寺慈恵病院は現在既に建替えの計画段階となっており、この機に支援をする必要がある。また、薬師寺慈恵病院は現在これらの機能を既に担っており、長野病院の建替え後も、これらの機能を維持し、高めていただく必要がある。またそれぞれ病院の強みに違いがあるので、全く同じ病院ができるものではない。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案16件、陳情1件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は不採択)

主な内容は次のとおりです。

《2月定例会》

●総社市工場立地法地域準則

価をすべてクリアしているか。

答 国が示す普通交付税の単価は、団員は同額で、他の階級については全て国が示す単価をクリアしている。

●令和4年度総社市一般会計補正予算(第11号)(議案第24号)(所管部分)

問 ふるさと納税寄附金の歳入見込み金額はどのように積算しているのか。

答 目標を高く見込んでいたが、実績見込みにより減額補正をした。

●一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会

◎令和5年度一般会計予算(議案第28号)(所管部分)

問 テレビ電波障害補償費とはどういったものか。

答 高層の庁舎建設に伴い、電波受信が悪くなる方に対して、アンテナの調整等を行うためのものである。

問 地域づくり自由枠交付金の予算増額分は何か。

答 防犯カメラの設置交付金

条例の制定について(議案第16号)

問 今回の改正によって企業にとつてメリットがあるのか。

答 緑地面積や環境施設面積を確保するために従業員の駐車場までも制限されていたが、緑地面積、環境施設面積率が緩和された分、駐車場や、生産施設の面積として確保できるようになる。工場立地法が適用となる企業には敷地を有効に活用することができる。

●一般会計予算審査特別委員会産業建設分科会

◎令和5年度一般会計予算(議案第28号)(所管部分)

問 元町井手本線改良工事は、工期は何期に渡るか、また完成はいつか。信号機はどこに移設されるか。

答 工期は令和5年度及び令和6年度の2箇年で実施予定である。信号機は新設が1本、移設が3本で、中央井手本線の橋本金物店付近や、商店街通り、国道180号線沿いの

を150万円増額している。その他は人口配分や自主防災組織の増加によるものである。

問 雪舟くんシステム改修委託料は、新システムを導入することで何か変わるか。

答 新たなシステムではインターネット活用が可能なものを検討している。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案16件であり、すべて原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

《2月定例会》

●総社市立学校条例及び総社市立幼稚園条例の一部改正について(議案第10号)

問 名称を昭和五つ星学園義務教育学校に決定するまでの過程で、全員一致で意見はまとまっていたのか。

答 昭和五つ星学園義務教育学校という名称はPTA、地域の方、学校関係の方で組織

信号機について移設等を行う。

問 ウオーキングコース路面標示施設について、4年程度

で約1千万円をかけ補修をするのであれば、違うやり方が良いのではないか。

答 数年で劣化しないよう、既存のチュッピーシールについては撤去し、コースの角々に石板を設置する予定である。

一般会計予算審査特別委員会

各分科会において令和5年度一般会計予算(議案第28号)の審査が行われ、各委員長からその審査経過について報告がありました。

文教福祉分科会では、取りまとめを行う段階で委員から「薬師寺慈恵病院に対する債務負担行為について、長野病院の建て替え後、検証した上で実施すべきである。また、長野病院に対する、病院施設整備補助事業自体を見直すべきである。」との意見があっ

された開校準備委員会において検討されたものである。他にもあったが、教育委員会において地域性、馴染みのある昭和五つ星学園義務教育学校という名称に決定された。

●一般会計予算審査特別委員会文教福祉分科会

◎令和5年度一般会計予算(議案第28号)(所管部分)

問 吉備路マラソンについてボランティア募集の方法を考える必要があり、警備費などの増額が見込まれるが、この予算額で足りるのか。

答 現段階では、物価高騰だけを考慮した金額を計上しており、この金額で実施していきたいと考えている。

問 債務負担行為の病院施設整備補助事業について、補助要綱の別表に掲げる6項目の機能を有した病院が2つできることになる。長野病院の建替えが終わり、6項目の機能を検証した上で、薬師寺慈恵病院にお願いする方法もあっ

たと文教福祉分科会委員長から報告がありました。本委員会では委員から病院施設整備補助事業について修正案が提出され、討論があったため起立採決の結果、起立少数により、修正案は否決されました。次に原案について起立採決の結果、起立多数により原案を可決することと決定しました。

なお、本件について、原案を可決することに決定しましたが、市と当該医療機関は市が希望する医療機能が継続できるよう、お互いに状況報告や情報交換を定期的に実施し、年に一度、議会へその報告を求めるもの及び、今一度、市内の医療提供体制の状況を精査し、今後の医療提供体制の向上を図るために必要な対象機能を見直した上で、適正な事業に努めるよう求める附帯決議案が提出され、起立多数により附帯決議を付することと決定しました。



# 復興に向けて・その軌跡 (Vol.13)

## 災害の記憶と記録を風化させない

平成30年西日本豪雨災害から間もなく5年が経過します。甚大な被害を受けた高梁川流域地域では、順調に工事が進んでいます。無堤防地域には新しく設置されようとしている堤防の姿が見えてきています。これらの工事が完成すれば水害の被害は軽減できると期待します。

先日、トルコ周辺で起きた大地震では甚大な被害と多数の犠牲者が出ています。報道で知るだけです。地震によって何百メートルにわたって地割れした映像を見ると改めて地震の怖さを認識させられます。

近い将来、発生が予測されている南海トラフ地震で岡山県南部は、最大で震度6強に襲われるといわれています。県の推計では約3100人が死亡し、建物約3万棟が全半壊するとされています。先日、阿曾地区で行っ

た防災訓練で地震体験車両で震度6強を体験しましたが、あの揺れが暗い時間に突然やってきたらと想像すると恐怖でしかないと思います。地震と風水害は違いますが、災害への備えは共通点が多いと思います。

平成30年西日本豪雨災害を経験した我々総社市民は、災害の記憶と記録を決して忘れることなく一人も犠牲者を出さないよう、まずは身近なところからの点検と備えをしなければと思います。  
(三上周治)



作原付近



福谷付近



日羽付近

### 編集後記

ウグイスやメジロなどが飛び始め、だんだんと春めいてきました。3年続いたコロナも落ち着き始め、マスクを外しての生活がだんだんと戻ろうとしています。この春から総社市の新庁舎の建設が始まりました。コロナ禍で延期されていたマラソン大会などのイベントも感染に気をつけながら開催できるようになりました。新入生や新社会人、新しい事、新しい環境、新たに始めるには絶好の春です。広聴広報メンバーも新たな気持ちで新たな紙面を作ることに尽力していますので、今後もお手にとって読んでいただけると幸いです。  
(太田善介)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 山口 久子
- 副委員長 小野 耕作
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 荒木将之介
- 委員 三上 周治
- 委員 岡崎 亨一

